サポート情報記事

質問の整理: カテゴリ、グループ化、カテゴリ フィルター、並べ替え、折りたたみ

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

概要 4

手順 **1.** カテゴリを定義する 4

手順 **2.** 一覧をカテゴリでグループ化する 5

手順 **3.** カテゴリ フィルターをオンにする 6

手順 **4.** 順序を選ぶ 7

手順 **5.** 折りたたむか展開するか 8

推奨される組み合わせ 8

用語 10

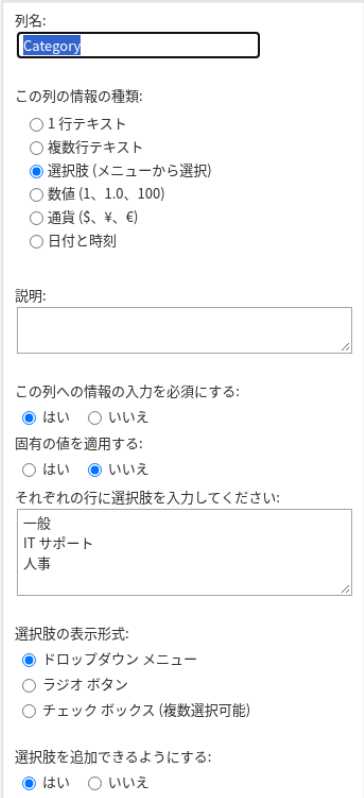
概要

質問が 10 件なら単純な一覧で十分ですが、50 件になると構造が必要です。Questions and Answers は、そのために編集者に 4 つのツールを提供します。各質問に割り当てる**カテゴリ**、カテゴリによる一覧の**グループ化**、閲覧者向けの**カテゴリ フィルター**、順序を制御できる**並べ替え**です。5 つ目の設定 **既定で折りたたむ** は、閲覧者にコンパクトな目次を見せるか、回答そのものを見せるかを決めます。この記事では、それぞれの使い方と組み合わせ方を説明します。設定はプロパティ ペインの **表示** グループにあります。 このバージョンで作成されるリストのフィールド名は、Title、Answer、Category、Link、VideoUrl、Contact、Order、Published のまま英語です。Web パーツやこの記事のローカライズされたラベルは、フィールド名を変更しません。作成コードは Title を Question に変更しません。

手順 1. カテゴリを定義する

カテゴリは、質問リストの **Category** 列の値です。Web パーツが作成したリストには *全般* という選択肢が 1 つだけあり、新しい値の入力 (**「入力」の選択肢**) が許可されているため、編集者はアイテム フォームに入力するだけでカテゴリを追加できます。整理されたナレッジ ベースのために、カテゴリのセットは意図的に定義してください。

1 リストを開き (プロパティ ペイン → **データ ソース** → **リストを開く**)、**リストの設定** → **列** → **カテゴリ** に移動します。
2 **選択肢を 1 行ずつ入力してください** (Type each choice on a separate line) に、カテゴリを 1 行に 1 つ入力します。たとえば *全般*、*アカウントとパスワード*、*ハードウェア*、*ソフトウェア*、*休暇と病気休暇* などです。
3 編集者がその場でカテゴリを追加できるようにする場合は **「入力」の選択肢を許可する** (Allow 'Fill-in' choices) をオンのままにし、定義した一覧を厳守させる場合はオフにします。



Category 列でのカテゴリの定義

Web パーツは、グループ見出しとしてもフィルター タブとしても、カテゴリをアルファベット順 (文字コード順) に表示します。順序を強制するには、名前の先頭に番号を付けます (*1. はじめに*、*2. アカウント*)。番号もそのまま表示されます。

メモ

Category は必須の選択肢列です。新規リストにはローカライズされた General の選択肢があり、自由入力も許可されますが、スキーマに既定値は設定されていません。質問フォームは Title のみを送信します。質問を受け付ける前に、リストで Category の既定値を設定して検証してください。General が自動設定される保証はありません。

手順 2. 一覧をカテゴリでグループ化する

グループ化 をオンにし、その下のドロップダウンで **カテゴリ** を選択すると、質問はカテゴリごとの見出しの下に、カテゴリのアルファベット順で表示されます。各グループ内では、質問は **最優先されるキー** の設定に従います。 検索クエリが有効な間はグループ化が無効になり、結果は単一の一覧で表示されます。カテゴリ

は言語別の照合順序ではなく、JavaScript の文字列順で並びます。



カテゴリでグループ化された質問

グループ化は、閲覧者がスクロールして読む数十件程度までのナレッジ　ベースに適しています。見出しが目次の役割を果たします。ページ単位の読み込みでは、グループは読み込まれた質問から構築され、次の分も同じグループに統合されます。

手順 3. カテゴリ フィルターをオンにする

カテゴリ フィルター は、一覧の上にタブの行を追加します。**すべて** (すべて) と、読み込まれた質問に含まれるカテゴリごとのタブです。閲覧者はタブをクリックして 1 つのカテゴリだけを表示します。この行は、カテゴリが 2 つ以上ある場合にのみ表示されます。カテゴリが 1 つだけならフィルターする対象がないためです。



カテゴリ フィルター タブ

フィルターは、グループ化 (1 つのグループだけが残ります)、並べ替え、検索 (選択したカテゴリの一致が表示され、一致がなければフィルターは **すべて** に戻ります) と連携して機能します。閲覧者が通常 1 つのトピックだけを求めるナレッジ ベース、たとえば IT、人事、総務のセクションを 1 ページにまとめたヘルプ セン

ターに適しています。

グループ化とフィルターは組み合わせることもできますが、通常はどちらか一方で十分です。上から下まで読まれるページには見出し、1 つのトピックを調べるために参照されるページにはタブが向いています。

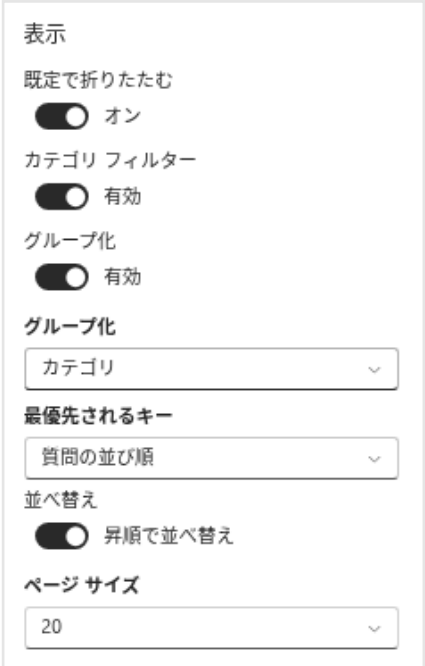
手順 4. 順序を選ぶ

最優先されるキー には 3 つの列があり、**並べ替え** で *昇順で並べ替え* と *降順で並べ替え* を切り替えます。

最優先されるキー	順序	用途
質問の並び順	Order	手動で配置した一覧: 最も重要な質問や最もよくある質問を先頭に
名前	質問テキストのアルファベット順 (文字コード順)	キーワードで見渡す用語集や参照一覧
登録日時	質問が追加された日付。*降順* で最新のものが先頭に	継続的に増えていくナレッジ ベース。新しい回答を上部で目立たせる
(なし)	**SharePoint** がアイテムを返す順序	ほとんど役に立ちません。上記のいずれかを使用してください

並べ替えはリストのページを要求する際と、読み込まれたアイテムに対して行われます。同じ値を持つアイテムや、読み込み中に変更されたアイテムの順序は保証されません。新しい Web パーツは **質問の並び順** の昇順で並べ替えます。

新規リストではグリッド編集が無効です。アイテム　フォームを使うか、先にリスト設定でグリッド編集を有効にしてください。Order は明示的に数値変換されず、クライアントでも比較されます。数値順や空欄の位置を前提にせず、実データで表示順を確認してください。



表示 グループ

手順 5. 折りたたむか展開するか

既定で折りたたむ (新しい Web パーツではオン) は、質問のヘッダーだけを表示し、閲覧者は必要なものを展開します。オフにすると、すべての回答が開いた状態で表示されます。全文を読んでもらうべき 3 件から 5 件の短いポリシー一覧や、お知らせとして使う質問 1 件だけの Web パーツに適しています。

ディープ リンク (`?questionId=N`) で開かれた質問は、この設定に関係なく常に展開されます。

推奨される組み合わせ

ナレッジ ベース	推奨設定
15 件まで、トピックは 1 つ	グループ化なし、フィルターなし。**最優先されるキー** → **質問の並び順**。折りたたみ
15〜60 件、複数のトピック、スクロールして読む	**グループ化** → **カテゴリ**。グループ内は **最優先されるキー** → **質問の並び順**。折りたたみ。**ページ サイズ** → **すべて** または 50

ナレッジ ベース	推奨設定
60 件以上、閲覧者は 1 つのトピックを求めて訪れる	**カテゴリ フィルター** オン、グループ化 オフ。**最優先されるキー → 名前**。折りたたみ。**ページ サイズ → 20**。検索ボックス オン
頻繁に追加される生きた FAQ	**最優先されるキー → 登録日時**、*降順*。**カテゴリ フィルター** オン。検索ボックス オン

どの構造を選んでも、検索ボックスはオンにしておいてください。カテゴリを知らない閲覧者でも、回答に含まれる言葉から答えを見つけられます (KB10378. Questions and Answers のナレッジ ベース検索とページ単位の読み込みを参照)。

用語

SharePoint

SharePoint は、コンテンツ管理、ドキュメント管理、ワークフロー アプリケーション、検索、その他のツールを提供する Web ベースのコラボレーション プラットフォームで、従業員やチームが共同で作業できるようにします。SharePoint は、共有情報を保存、整理、アクセスするための安全な場所でもあります。